

平成29年度滋賀県中小企業活性化施策実施計画の各事業の評価票 [前回から評価が下がった8事業を抜粋]

施策分類	事業番号	事業名	事業概要	平成29年度の具体的取組内容	平成29年度の事業の目標 (数値目標または定性目標)	目標設定根拠	事業の評価					H29年度当初予算 (単位:千円)	H29年度決算見込額 (単位:千円)	担当課	
							段階評価 (ABCD)	過年度評価		取組の成果 ①数値目標の達成状況、定性目標の場合の段階評価の説明等を記入 ②上記のほか、施策の利用者に対してどのような成果や効果があったか、把握している範囲で記入	実施後の課題				施策利用者の具体的な声・意見等
								H28	H27						
(1) 中小企業の自らの成長を目指す取組の円滑化(条例第8条第2項)															
ア 将来において成長発展が期待される分野における参入および事業活動の促進															
8-2-ア	2	エネルギー社会トップモデル形成推進事業	民間事業者等による地域の特性に応じた未利用エネルギー等を活用した先導的なモデル地域づくりに向けた取組を支援する。	未利用エネルギー等を活用した事業化可能性調査やマスタープラン策定、施設整備にかかる経費を補助	【目標】 新しいエネルギー社会を実現する先導的な取組モデルの形成支援件数 3件	②総合戦略	C	A	-	①バイオマスエネルギーを活用した先導的な取組モデルの形成や外部資金を活用した実証事業の2件を支援した。 ②地域特性に応じた安定的な原料調達のポテンシャルやサプライチェーンに則した最適な事業スキームなど、関係者間で課題や今後の方針等を共有できた。	先導的な取組モデルの形成にあたっては、構想・検討から実装化に至るまで長期間を要するものであることから、中長期を見据えた切れ目のない支援を国の競争的資金も活用しながら継続して実施していく必要がある。	構想・検討から実装化に至るまで切れ目のない支援を希望する声があった。	25,000	9,999	エネルギー政策課
8-2-ア	8	中小企業振興資金貸付金(政策推進資金(成長産業育成枠))	成長産業分野の事業を営んでいる中小企業者等で事業の拡充を図るために必要な資金の貸し付けを行う。	○成長産業分野の事業を営んでいる中小企業者等で、当該分野においてさらなる事業の拡大を図る中小企業者等への必要な資金の貸し付け <対象事業分野> ・環境、エネルギー事業 ・防災対策事業 ・クリエイティブ事業 など7分野	【目標】 ・成長産業分野で活躍する企業の活動を資金面から支援する。	⑤その他	B	A	B	①利用先は「環境、エネルギー事業」および「医療・介護・健康関連事業」への融資であり、成長産業分野で事業を営む中小企業の資金面の需要に対応できた。 ② 【利用件数】2件(前年度比40.0%) 【利用金額】40,400千円(対前年度比72.8%)	利用件数が少ないことから制度の周知啓発に努めるとともに、引き続き成長産業分野の事業を営む中小企業者等の事業拡大を資金面から支援する必要がある。	<商工会議所・商工会等からの意見> ・前向きな資金については、優遇金利の適用を継続していただきたい。 <金融機関からの意見> ・制度融資はメニューが充実しており、個別資金について周知していく余地がある。	17,000	14,400	中小企業支援課

施策分類	事業番号	事業名	事業概要	平成29年度の具体的取組内容	平成29年度の事業の目標 (数値目標または定性目標)	目標設定根拠	段階評価 (ABCD)	過年度評価		事業の評価			H29年度 当初予算 (単位:千円)	H29年度 決算見込額 (単位:千円)	担当課
								H 28	H 27	取組の成果					
								①数値目標の達成状況、定性目標の場合の段階評価の説明等を記入 ②上記のほか、施策の利用者に対してどのような成果や効果があったか、把握している範囲で記入			実施後の課題	施策利用者の具体的な声・意見等			
(2) 中小企業の経営基盤の強化(条例第8条第3項)															
イ 中小企業の経営の安定および向上															
8-3-イ	50	【産業振興総合支援推進事業】 (公財)滋賀県産業支援プラザの支援体制の強化等	本県の中小企業支援の中核的なセンターとして、新事業の創出や経営革新などの支援を行う(公財)滋賀県産業支援プラザについて、必要な体制を引き続き整備する。	○(公財)滋賀県産業支援プラザの体制の整備への補助の実施 ・管理運営の実施 ・経済分析 ・情報収集、発信	顧客とのコミュニケーションの強化 ・HP閲覧件数 160,000件 ・様々な産業情報の発信	⑤その他	B	A	A	①平成29年度HP閲覧件数:148,620件 滋賀県企業情報検索市場(skki)の登録件数:394件(前年度より8件増) 企業支援ガイドブックの発行 3,500部 業務案内パンフレットの発行 3,000部 広報誌「うちのこづち」の発行 9月・1月各3,000部 ②様々な企業情報等について、データベース構築による一元管理の中で分析を行い、企業の特性を生かした支援を行った。また、広報誌やプラザHPを通じて県内企業等の新技術や新商品の情報を発信することにより、販路開拓の支援を行った。	様々な産業情報の発信を行うことによる経営高度化の支援が必要。	情報誌の掲載企業から、掲載されたことで信用度があり、新たな取引や人材確保につながったとの声があった。	216,713	210,116	商工政策課
ウ 中小企業の創業および新たな事業の創出の促進															
8-3-ウ	61	【地域経済循環促進事業】 コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス推進事業	コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの担い手を育成するための人材育成プログラムを実施する。	○人材育成プログラムの実施	【目標】 プログラム受講者 15人	①基本構想	B	A	C	①人材育成プログラム受講者14人参加し、SIBセミナーでは34人が参加した。 ②ワークショップ終了後、個別にフォローアップを実施し、参加者自身の事業推進につながった。	人材育成プログラムやコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスへの支援を通じ、引き続き地域経済循環に向けた取組を着実に進める必要がある。	・社会的指標とビジネス的な指標のどちらにも意識する必要があると分かった。 ・こういったセミナーやワークショップでは、「いい勉強になった」で終わってしまうことが多いので、次に繋げていくために今後も相談に乗ってほしい。	910	612	商工政策課

施策分類	事業番号	事業名	事業概要	平成29年度の具体的な取組内容	平成29年度の事業の目標 (数値目標または定性目標)	目標設定根拠	段階評価 (ABCD)	過年度評価		取組の成果 ①数値目標の達成状況、定性目標の場合の段階評価の説明等を記入 ②上記のほか、施策の利用者に対してどのような成果や効果があったか、把握している範囲で記入	実施後の課題	施策利用者の具体的な声・意見等	H29年度当初予算 (単位:千円)	H29年度決算見込額 (単位:千円)	担当課
								H28	H27						
8-3-ウ	69	中小企業振興資金貸付金 (政策推進資金(新事業促進枠))	新商品の開発または生産、新役務の開発または提供、商品の新たな生産または販売方式の導入その他新たな事業活動、および事業の多角化や事業分野への進出ならびに事業承継を行うことにより、その経営の相当程度の向上を図るために必要な資金の貸し付けを行う。	○中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認を受けて、その計画を実施する中小企業者への必要な資金の貸し付け ○中小企業等経営強化法に基づく経営力向上計画の認定を受けて、その計画を実施する中小企業者への必要な資金の貸し付け ○滋賀の新しい産業づくりチャレンジ計画の認定を受けて、その計画を実施する中小企業者等への必要な資金の貸し付け ○事業の多角化や新たな事業分野への進出を行う中小企業者等への必要な資金の貸し付け ○事業基盤を県内に維持しつつ、海外で事業を展開しようとする中小企業者等への必要な資金の貸し付け ○事業承継に必要な資金の貸し付け	【目標】 ・事業の多角化や新事業分野への進出を資金面から支援する。	⑤その他	B	A	B	①中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新に関する計画の承認を受けて、その計画を実施する者に対する融資や、事業の多角化や新たな事業分野への進出を行う者に対する融資などの利用実績があるなど、中小企業者の新事業分野への進出に対する資金面の需要に対応できた。 ② 【利用件数】2件(前年度比40.0%) 【利用金額】12,800千円 (前年度比26.2%)	利用件数が少ないことから、制度の周知啓発に努めるとともに、引き続き新事業分野へ進出する中小企業者等を資金面から支援する必要がある。	<金融機関からの意見> ・地域の持続的な発展のために事業承継は重要である。 ・事業承継の相談は受けるが、融資に至るケースは少ない。 ・事業承継セミナーを開催しており、関心が高まっている。	132,000	49,200	中小企業支援課
(3) 産業分野の特性に応じた中小企業の事業活動の活性化(条例第8条第4項) アものづくり産業を担う中小企業の事業機会の増大															
8-4-ア	80	伝統の技と美「滋賀の匠展」開催事業 <重点①>	県および国指定の伝統的工芸品の価値を広く県民に伝えようとにも販売を促進するため、展示をメインとして、実演や体験等を内容とした展示会を開催する。	○展示会の開催	【目標】 開催期間中の入場者数 3,000人	⑤その他	B	A	-	①開催期間中(3日間)の入場者数:約2800人 ②展示会の開催によって、製造事業者だけでは県民への周知が難しいところでも多くの人に認知してもらうことができた。	展示会の継続的な開催が必要だと感じた。また、開催場所については、事業者にとってより効果のある場所での開催を検討していく必要性も感じた。	実際に来場された方と直接話をすることで、工芸品の魅力や技術などを知ってもらえた。	1,973	1,215	中小企業支援課
8-4-ア	83	近江技術てんびん棒事業	県内企業のビジネスチャンスの拡大を図り、事業化を促進するため、県内企業の持つ優れた技術を、県内外大手企業に対して直接かつ具体的に提案(売り込み)する展示商談会等を開催する。	○経済団体と連携した、大手メーカーに対する展示商談会を開催	【目標】 情報交換件数(試作、見積依頼、名刺交換等) 300件	⑤その他	B	A	B	①オムロン株式会社草津事業所において開催された展示商談会において、225件の情報交換が行われた。 ②開催後即1件の商談が成立した。その後は、まだ商談が成立してないが、過去に本事業に参加した事業者では、1年後、2年後もしくは数年後に商談が成立している。	事業開催に協力的な企業が減少傾向にあり、小規模開催が好まれる傾向にある。技術者の参加が少ない。	・企業間コラボによりさらなる技術向上が可能ではないか。 ・直接的な材料も出展されていて非常に参考になった。新しい技術も発見できた。	842	89	モノづくり振興課

施策分類	事業番号	事業名	事業概要	平成29年度の具体的取組内容	平成29年度の事業の目標 (数値目標または定性目標)	事業の評価					H29年度 当初予算 (単位:千円)	H29年度 決算見込額 (単位:千円)	担当課		
						目標設定 根拠	段階評価 (ABCD)	過年度 評価		取組の成果 ①数値目標の達成状況、定性目標の場合 の段階評価の説明等を記入 ②上記のほか、施策の利用者に対してどのよ うな成果や効果があったか、把握している範囲 で記入				実施後の 課題	施策利用者の具体 的な声・意見等
								H 28	H 27						
ウ 観光客の来訪および滞在の促進による中小企業の事業機会の増大															
8-4-ウ	97	県域無料Wi-Fi整備促進事業	観光・商業の振興、災害対策等に有効となる無料Wi-Fi環境の県内における整備の促進および利便性の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○無料Wi-Fi整備促進協議会の運営 ○県立施設無料Wi-Fi整備事業 ○滋賀県無料Wi-Fi設置事業費補助 	【目標】 ・取組計画に基づき整備促進 ・利用促進のための周知・広報 ・県立施設Wi-Fi整備(7箇所) ・利便性向上検討	①基本構想	B	A	B	① ・指定事業者と連携し、無料Wi-Fi設置事業費補助も活用しつつ整備を促進した。 ・滋賀県無料Wi-Fi整備促進協議会において、利用促進にかかる広報物を印刷し、関係各所に配布した。また、ポータルサイトを地域情報・観光情報等のコンテンツを掲載できるよう改修した。改修後のポータルサイトを活用し、更なるびわ湖Free Wi-Fiの更なる普及促進に繋げていく。 ・県立施設Wi-Fi整備 9箇所 ・滋賀県無料Wi-Fi整備促進協議会 利活用部会にて利活用モデルの実現に向けて取り組みを進めた。	Wi-Fiを設置したことによって、どのようなメリットがあるかについて、エリアオーナーにもっと幅広く周知していく必要がある。	「すばらしい!!もっと増やしていただきたい」、「観光集客狙うなら、これの普及整備が必須」といった声を直接にお伺いしている。さらに利便性向上を求める声、セキュリティの重要性を指摘する声もあった。	12,873	7,702	情報政策課